

自己評価表(R6年度)

(職員集計)

少人数制 キッズハウス保育園

評価日： 2025年12月10日

第1 保育園の理念、基本方針

評価項目	A	B
保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがありますか。		
A) 保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがある。	5	
B) 保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがない。		
保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していますか。		
A) 保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を理解している。	5	
B) 保育園の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していない。		

第2 保育園の運営管理

評価項目	A	B
保育園における自分自身の役割や責任の範囲などを理解していますか。		
A) 自分自身の役割や責任の範囲を理解している。	5	
B) 自分自身の役割や責任の範囲を理解していない。		
個人情報の保護や守秘義務に関して理解していますか。		
A) 個人情報の保護や守秘義務に関して理解している。	5	
B) 個人情報の保護や守秘義務に関して理解していない。		
職員会議などに参加し、その会議の内容について理解してますか。		
A) 職員会議などに参加し、会議の内容についても理解している。	5	
B) 職員会議などに参加していない、または会議の内容を理解していない。		

第3 保育の内容

評価項目	A	B
子どもの発育や発達の状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。		
A) 保護者から情報を得るようにしている。	5	
B) 保護者から情報を得ていない。		
登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。		
A) 子どもの健康観察を行っている。	5	
B) 子どもの健康観察を行っていない。		
保育中、子どもの様子（機嫌や食欲など）を把握していますか。		
A) 子どもの様子を把握している。	5	
B) 子どもの様子を把握していない。		
一人ひとりの子どもの生理的欲求（食欲や睡眠など）が満たされるよう配慮していますか。		
A) 生理的欲求が満たされるよう配慮している。	5	
B) 生理的欲求が満たされるよう配慮していない。		
登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、優しく声を掛けたりしていますか。		
A) 抱いたり、優しく声を掛けている。	5	
B) 抱いたり、優しく声を掛けていない。		
子どもとの温かなやり取りやスキンシップを心がけていますか。		
A) 温かなやり取りやスキンシップを心がけている。	5	
B) 温かなやり取りやスキンシップを心がけていない。		
子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていますか。		
A) 子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけている。	5	
B) 子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていない。		

子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか。		
A) 子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけている。 B) 子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていない。	5	
一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。		
A) 一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っている。 B) 一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていない。	5	
いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。		
A) いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮している。 B) いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していない。	5	
戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。		
A) 戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けている。 B) 戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていない。	5	
いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していますか。		
A) いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫している。 B) いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していない。	5	
衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していますか。		
A) 衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助している。 B) 衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していない。	5	
いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していますか。		
A) いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮している。 B) いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していない。	5	
子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。		
A) 子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っている。 B) 子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていない。	5	
子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていますか。		
A) 子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れている。 B) 子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていない。	5	
子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していますか。		
A) 子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助している。 B) 子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していない。	5	
子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。		
A) 子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けている。 B) 子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていない。	5	
子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていますか。		
A) 子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしている。 B) 子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていない。	5	
子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。		
A) 子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮している。 B) 子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していない。	5	
子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていますか。		
A) 子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけている。 B) 子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていない。	5	

子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。		
A) 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけている。 B) 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていない。	5	
子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。		
A) 子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助している。 B) 子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していない。	5	
子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていますか。		
A) 子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけている。 B) 子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていない。	5	
子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。		
A) 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけている。 B) 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていない。	5	
子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていますか。		
A) 子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけている。 B) 子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていない。	5	
絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。		
A) 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけている。 B) 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていない。	5	
子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。		
A) 子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮している。 B) 子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していない。	5	
子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していますか。		
A) 子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫している。 B) 子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していない。	5	
子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。		
A) 子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮している。 B) 子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していない。	5	
子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていますか。		
A) 子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めている。 B) 子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていない。	5	
一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していますか。		
A) 一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮している。 B) 一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していない。	5	
一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していますか。		
A) 一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮している。 B) 一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していない。	5	
一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していますか。		
A) 一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮している。 B) 一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していない。	5	
一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。		
A) 一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察している。 B) 一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していない。	5	
乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか。		
A) 乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答している。 B) 乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していない。	5	
乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていますか。		
A) 乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしている。 B) 乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていない。	5	

1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。	5	
A) 1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っている。		
B) 1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていない。		
1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。	5	
A) 1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしている。		
B) 1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていない。		
1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。	5	
A) 1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮している。		
B) 1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していない。		
1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。	5	
A) 1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重している。		
B) 1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していない。		
1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。	5	
A) 1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っている。		
B) 1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていない。		

第4 保育の計画及び評価

評 値 項 目	A	B
保育園の保育課程を理解していますか。		
A) 園の保育課程を理解している。	5	
B) 園の保育課程を理解していない。		
指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していますか。	5	
A) 指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成している。		
B) 指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していない。		
指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。	5	
A) 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成している。		
B) 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していない。		
指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。	5	
A) 指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成している。		
B) 指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していない。		
指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。	5	
A) 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定している。		
B) 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していない。		
指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていますか。	5	
A) 指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれている。		
B) 指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていない。		
子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていますか。	5	
A) 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしている。		
B) 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていない。		
自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていますか。	5	
A) 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしている。		
B) 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていない。		

第5－1 健康及び安全（子どもの健康支援）

評価項目	A	B
子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。 A) 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。 B) 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	5	
子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。 A) 子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。 B) 子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	5	
子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していますか。 A) 子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有している。 B) 子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していない。	5	
感染症に対する園の方針などを理解していますか。 A) 感染症に対する園の対応方針などを理解している。 B) 感染症に対する園の対応方針などを理解していない。	5	
感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。 A) 感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握している。 B) 感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していない。	5	
一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していますか。 A) 一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握している。 B) 一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していない。	5	
保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していますか。 A) 保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮している。 B) 保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していない。	5	
保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していますか。 A) 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解している。 B) 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していない。	5	
慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めていますか。 A) 慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めている。 B) 慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めていない。	5	
午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。 A) 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察している。 B) 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していない。	5	

第5－2 健康及び安全（環境及び衛生管理）

評価項目	A	B
衛生管理に対する園の方針などを理解していますか。 A) 衛生管理に対する園の対応方針などを理解している。 B) 衛生管理に対する園の対応方針などを理解していない。	5	
保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。 A) 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけている。 B) 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていない。	5	
子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していますか。 A) 子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮している。 B) 子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していない。	5	
保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。 A) 保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしている。 B) 保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていない。	5	
子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。 A) 子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしている。 B) 子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていない。	5	
おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していますか。 A) おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮している。	5	

B) おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していない。

第5－3 健康及び安全（事故防止及び安全管理）

評価項目	A	B
事故防止や安全管理に対する園の方針などを理解していますか。 A) 事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解している。 B) 事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解していない。	5	
園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していますか。 A) 園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検している。 B) 園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していない。	5	
日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していますか。 A) 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検している。 B) 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していない。	3	2
事故が発生した場合の対応方法を理解していますか。 A) 事故が発生した場合の対応方法を理解している。 B) 事故が発生した場合の対応方法を理解していない。	5	
乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。 A) 乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。 B) 乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	5	
1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。 A) 1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。 B) 1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	5	
災害に対する園の対応方針などを理解していますか。 A) 災害に対する園の対応方針などを理解している。 B) 災害に対する園の対応方針などを理解していない。	5	
災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。 A) 災害が発生した場合の対応方法を理解している。 B) 災害が発生した場合の対応方法を理解していない。	5	

第5－4 健康及び安全（食育の推進）

評価項目	A	B
食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。 A) 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解している。 B) 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していない。	5	
子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。 A) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮している。 B) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していない。	5	
自分が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていますか。 A) 自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めている。 B) 自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていない。	5	
食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していますか。 A) 食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べができる雰囲気づくりに配慮している。 B) 食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べができる雰囲気づくりに配慮していない。	5	
子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していますか。 A) 子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮している。 B) 子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していない。	5	
食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。 A) 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えている。 B) 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていない。	5	

第6 保護者に対する支援

評価項目	A	B
送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていますか。 A) 送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしている。 B) 送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていない。	5	
送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。 A) 送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えている。 B) 送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていない。	5	
保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていますか。 A) 保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めている。 B) 保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていない。	5	
保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。 A) 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めている。 B) 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていない。	5	
保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。 A) 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めている。 B) 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていない。	5	
保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していますか。 A) 保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解している。 B) 保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していない。	5	

第7 職員の資質向上（職員の研修等）

評価項目	A	B
自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。 A) 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚している。 B) 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していない。	5	
園内で行われる研修や会議に積極的に参加していますか。 A) 園内で行われる研修や会議に積極的に参加している。 B) 園内で行われる研修や会議に積極的に参加していない。	5	
園外で行われる研修に自発的に参加していますか。 A) 園外で行われる研修に自発的に参加している。 B) 園外で行われる研修に自発的に参加していない。	5	
自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。 A) 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる。 B) 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいない。	5	
保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていますか。 A) 保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めている。 B) 保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていない。	5	
自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められますか。 A) 自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められる。 B) 自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められない。	5	
職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか。 A) 職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力している。 B) 職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していない。	5	
保育園の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していますか。 A) 保育園の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解している。 B) 保育園の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していない。	5	

○保育実践における保育の気づきと振り返り

- ・子ども一人一人の思いにしっかり寄り添った声かけを行いながら、子どもの目線になって考えることを大切にしていきたい。
- ・心に余裕を持ち保育していくことを大切にしていきたい。
- ・園外での活動をもっと充実できるようにしたい。（公園や広場などが近くにない為、バス等を利用して行くことも考えていいきたい）
- ・子ども一人一人とゆったりと関わることの大切さを改めて意識し、日々の保育に取り組んでいきたい。
- ・自分自身、保育をしていて、0～2歳児という月齢であることから、子ども自身が思いをうまく表現できない場面が多くあります。何を伝えようとしているのか理解することが難しい時もありますが、その都度丁寧に向き合い、気持ちを理解できるよう努めています。
- ・子ども達が安全に安心して過ごせる環境を更につくっていけるように意識を高めていきたい。
- ・子ども達一人一人の思いに対して適切な対応ができるようにしていきたい。
- ・子ども一人一人が落ち着いて安心して過ごせるように、みんなで楽しく過ごせるような環境づくりを心掛ける。
- ・子どもへの声かけを常に同じにするのではなく、声のボリュームや伝え方を工夫し、子どもたちが前向きに動けるような関わりを大切にしていきたい。
また、たくさん褒めることで、子どもの力を伸ばしていきたい。
- ・子どもは日々成長しているため、援助をしそうず、見守ることの大切さも意識しながら関わっていきたい。

○今後の課題と取り組み

- ・0～2歳児は自分の思いを言葉で伝えられない子がほとんどであるため、子どもの表情や体調、前後の行動などを理解し、思いを汲みながら、穏やかに過ごせるよう保育していきたい。
- ・その場その場の環境で余裕を持ち、ゆったりとした関りを持てるようにしたい。
- ・園外での活動を充実させるための話し合いを定期的に行っていきたい。
- ・0～2歳児の子どもたちは、まだ自分の思いを十分に表現することができないためそのことをきちんと理解した上で、日々の保育の中で一人一人の性格や様子を丁寧に捉え、子どもが「この先生はわかってくれる」と感じられる存在でありたいと考えています。
- ・保護者の方に「キッズハウス保育園に通わせて良かった」と思っていただけるよう、一人一人の子どもたちに引き続き愛情をたっぷり注ぎ、丁寧な保育を行っていきます。
- ・常に子ども達が安心して安全に過ごすことができるよう環境設定をより細かく行っていきたい。
- ・今後も感染対策を徹底して、感染防止につなげていきたい。
- ・保護者と子供の情報を共有し、適切な援助を心掛けていく。
- ・子ども一人一人が楽しく過ごせるよう、手遊びや歌、絵本を取り入れていく。
そのためにレパートリーを増やし、子どもたちの気持ちに寄り添った保育を行っていきたい。
- ・子どもが自分で取り組んでいるときは、見守ることも大切にしながら、自分でできるような声かけや援助を行っていく。また、他の保育者の指導や援助の仕方を見て学び、それを実践していきたい。

○今後の目標（園全体で話し合い、目標を決める）

- ・子どもの思いに気づき適切な対応をする。
- ・メリハリをつけながらも、ゆったりと家庭的な雰囲気の中で保育をおこなう。
- ・職員同士の話し合いを深め、連携を十分に取れる環境づくりを行う。
- ・一人一人が計画性をきちんと持ち、全体で話し合うことで共通理解を図り、保育へつなげていく。
- ・子どもの成長段階を共有し、指導法の統一を図りながら、常に子どもファーストの保育を行っていく。
- ・子ども達が安心して楽しく保育園に通うことができるように常に子どもに寄り添い気持ちを受け止められるようにしていきたい。
- ・子ども達が過ごしやすい環境を設定できるように職員同士でより深く話していきたい。
- ・子どもの成長とともに、私自身もよりよい保育者となれるよう努めています。
- ・遊びや活動のバリエーションを広げ、子どもが楽しく安心して過ごせる環境をつくる
- ・一人一人の発達段階や特徴を細かく把握し、適した援助を行う。